

第5章 環境教育

第1節 環境教育および啓発事業の推進	115
1. 環境学習センターの取り組み	115
2. 環境保全課の取り組み	115

第1節 環境教育および啓発事業の推進

1. 環境学習センターの取り組み

四日市市環境学習センターは、平成8年8月1日、子どもから大人までを対象に、日常生活と環境の関わりについての関心と理解を深め、環境に配慮した行動がとれる市民の育成を目的に開館した。市民が自主的に、楽しく環境の学習ができる拠点施設となることを目指して、平成26年度まで事業を行ってきましたが、「四日市公害と環境未来館」の開館に伴い、平成27年3月20日に閉館しました。

2. 環境保全課の取り組み

1. 環境情報の提供

「四日市のかんきょう」の作成

四日市の公害の歴史や現状について正しく知り、考えるための手引書として、平成13年度までA4版16ページの小冊子を作成していたが、現在は「かんきょう四日市」のホームページに掲載している。

2. 地球温暖化対策の推進

(1) 姉妹都市・友好都市による高校生地球環境塾

夏休み期間中（7/27～8/3）に市内高校生と姉妹都市であるロングビーチ市の高校生、友好都市である天津市の高校生を対象に、環境問題のグローバルな考え方や取り組みについての理解や交流を深めてもらうことを目的に、国際環境技術移転研究センター等において、環境学習を実施した。

(2) こどもよっかいちCO₂ダイエット作戦

市内の事業所や三重県と協力して、小学生向けの地球温暖化関連教材「こどもよっかいちCO₂ダイエット作戦」を導入し、市内の小学校3校で実施した。

(3) エコドライブ講習会

JAF三重支部の協力により、市民を対象としたエコドライブ講習会を年1回実施した。

(4) 霞ヶ浦地区環境行動推進協議会

商工会議所、霞ヶ浦地区企業や四日市港管理組合との協働により、公共交通機関、自転車、徒歩など、環境負荷の低い方法での通勤を毎月実施した。また、ライトダウンキャンペーンや環境配慮行動のシンポジウムにも協力を行った。